



郷土の歴史 335

八潮の地名考

松之木 現八潮市大字松之木
松之木は、古綾瀬川の氾濫源の沖積地に位置し、自然堤防上に近世集落が発展する。地名は、「古へ大松アリシユ(二村名トナレル由ヲ伝フ)」(新編武蔵風土記稿)とか、民俗調査の開取りよると「鎮守稲荷神社に松の木が繁茂する」(八潮の民俗資料三)ことに因むと伝える。

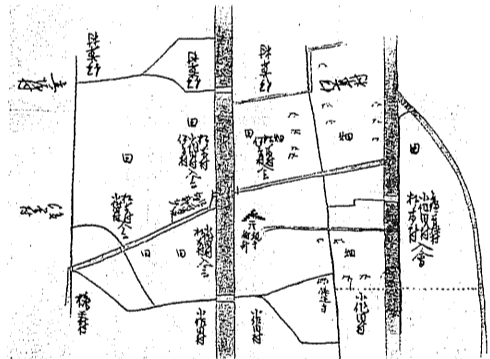
江戸期の松之木は、松木や松の木、松ノ木、松之木と記され、公的には「之」字を用いた。マツノキ地名は、

埼玉県内では八潮市だけであるが、全国では一八か所に見え、松木、松ノ木、松之木などと記される。

近世期の小名は不詳。地租改正時(明治七年)の字地は、八條井堀東・根通・葛西井堀東・葛西井堀西・上ヶ田高木などがあつた。現在の字地は、居村、居村東、宮脇、新川西となつている。本号では、松之木の小史を中心に述べる。

松之木村 江戸初期から明治二十年までの村名。

近世初頭は騎西郡八条之内松之木村、正保年間(一六五〇〜一六五九)に埼玉郡八條領松之木村となる。支配関係では御料所、後寛文二年(一六六二)に土井能登守領地となり、天和二年(一六八二)に幕府領に服し代官支配地となる。松之木の隣村は、北は伊草村・東は鶴ヶ曾根村・西は後谷村・南は小作田村等と接し、村の広さは東西五町余・南北二町程である。検地は寛永四年(一六二七)と貞享元年(一六八四)。貞享元年の村高一七五石七升一合、反別二一町五反二〇歩、内田が一四町八反一畝二歩の水田優位の村落。郷藏敷一畝一〇歩、石盛りは田が一・一・中九・下七、畑が一〇・中八・下六・屋敷一〇、除地は勝蓮寺境内社地一反五畝四歩、享保十六年(一七四一)に西方落堀(本所上水堀跡)が新田開発され畑一畝九歩・石高六升五合が検地をうける(八潮市史「史料編近世」)。また享保十八年(一七三三)に本所上水灌漑跡の新田検地が高七斗



天保14年松之木村絵図(小沢家文書)

九升三合・田反別一反二畝二一歩であつた(豊田家文書)。天保六年(一八三五)の総高一七五石九斗二升九合、家数二一軒、人別一三〇人、名主は二人制で名主役高が二〇石六斗六升で(八条領村鑑)、なお「新編武蔵風土記稿」の民家は二二戸と記される。勝蓮寺(真言宗 観音堂本尊の観音像は、寛文九年(一六六九)に八條用水と中井堀の分水点の三角山から出土した金像仏である(豊田家文書)。村内に葛西用水や八條用水、四ヶ村用水、悪水堀などの四水路が流れ、用排水路の管理は、八條用水路は五九間、古利根川中川筋藻刈組合(四三石七斗六升八合)が一七間、綾瀬川筋藻刈組合(一三三石一斗六升一合)が一三間半などを管轄した。

明治期の松之木村は、明治二年に小菅県、同四年に埼玉県となる。同九年(一八七四)の物産は、米二一八石余、

文芸欄

呉美代選

皆さんの投稿をお待ちしています。市民の方ならどなたでも結構です。ぜひお寄せください。【応募先】〒340-8588八潮市中央一丁目二一 八潮市役所広報課広聴広報係

詩

台所で 都築紀子
尾をびんと張っている
うろこが光った、産地直送の蛙は
生き返って跳ねそうだ
出刃で一撃し、目をそむけ
頭を切り取る、手が血まみれになる
腹わたといっしょに白子が出てきた
限らない数の精子は
まだ生きているかもしれない
死んでいるものをまた殺し
私はさばさばと手を洗っている
いつときすると、魚焼器から
香ばしい魚の焼ける煙が上がる
台所はまだ血なまぐさい
〈評〉イメージが鮮明です。生き物を殺して食べる人間としての痛みがこめられています。

短歌

鶴ヶ曾根 安藤知晃
子がくれし新茶淹るるに香は立ちて
老いづく夫婦ほのぼのと居る
古新田 横田八重
白鷺の立ちし川辺の水の中
うぐいの稚魚の群れて遊びぬ
南川崎 伊本則子
幼き日かなえられざる思いこめ
テイペアーに抱きつきてみる
八潮八 浅田淑子
下町の情緒漂う町行けば
昔懐かし甘酒の店
南後谷 杉村セツ
菖蒲湯に浸りてしばしまどろみぬ
心安らぐこの温もり
大曾根 宗像ゆき子
クロバーの花で編みたる花冠

俳句

皆立ち上がる貌強張らせ
皆さん(の投稿)お待ちしています。市民の方ならどなたでも結構です。ぜひお寄せください。【応募先】〒340-8588八潮市中央一丁目二一 八潮市役所広報課広聴広報係

子等にかがせむ春深む野辺 金子壽一
浮塚 恩田照子
急ぎ画面に向うこのころ
春雨にしつとりぬれし藤の房
風にゆられる花のさざ波
二丁目 田中忠
母の日に娘より新茶のプレゼント
老いゆく妻の笑顔いじらし
西袋 鈴木厚子
我が父のボケの姿に声もなく
なすすべもなくただ涙する
二丁目 田中祐子
孫の嫁となる人の手に指絡め
姑はなやきて離そうとせず
木曾根 高谷多門
ふるさとの駅のホームに群れ遊ぶ
スズメの声にも津軽訛りが
二丁目 田中元三
手術室表示消ゆれば待つ家族
八潮七 鈴木義風

武者人形送りし孫は武者となり
大曾根 椎野さち子
車窓より芽吹きし木々や故山いま
小作田 藤波ふみ
青葉風ささやく乙女の髪揺する
大曾根 根岸佐代子
水仙の花白くして友逝きし
二丁目 佐藤栄子
春の陽に燃ゆる絨氈桜
中央三 宇津木勝子
若葉雨ひときわやえる藤の花
八潮七 石井忠枝
菖蒲風呂孫と会話の弾みけり
坂 沼野あい
石楠花に夫婦で和む朝の庭
八潮七 茂村つ留
立夏の日幼児かた言つたい来る
鶴ヶ曾根 斎藤初子
生き生きと嫁御のまぶし薔薇花展
〈評〉短歌と俳句の投稿が急増し、載せられない作品も多くありました。

三郷市

○第13回市民ホールコンサート「正倉院の響き」
日時 6月13日(土)、午後2時から
会場 三郷市役所市民ホール
内容 正倉院の復元楽器による演奏会
交通 武蔵野線三郷駅から市役所経由松戸駅か
亀有駅北口行きバス「三郷市役所」下車
定員 200人(先着順)
問い合わせ 自治文化課 ☎53-1111

吉川市

○中井沼公園の花しょうぶ
市の地形をかたどった池を中心とした中井沼公園には、特産の花しょうぶが900株植えられ、6月上旬には白や紫の見事な花が咲きます。池を優雅に泳ぐ二羽のコブ白鳥がお待ちしています。
交通 JR武蔵野線吉川駅北口「ネオポリス」行きバス終点徒歩5分
品目 初霜、蜀江錦、日の出鶴
問い合わせ 都市整備課 ☎82-5111

行ってみたいな となりまち

近隣4市1町のイベント情報をお届けします。ぜひ、お出かけください。

○市制40周年記念 まちづくりフォーラム
日時 6月20日(土)、午後1時～5時
会場 越谷市中央市民会館劇場
内容 基調講演、パネルディスカッション「あすに向けたまちづくり」
入場料 無料
問い合わせ 企画課 ☎64-2111

草加市

○朝顔市
日時 7月5日(日)、午前7時から(雨天決行)
会場 草加松原遊歩道
内容 市内の園芸農家などで栽培された大輪のあんどん型の朝顔2000鉢を1鉢1500円で販売。せんべい、ゆかた、皮革製品などの地場産品や市内でとれた新鮮な野菜、花きも即売。
問い合わせ 草加市観光協会 ☎22-0151

松伏町

○B&G海洋センター・プールがオープン
利用日時 6月20日(土)から①午前9時～11時30分 ②午後1時30分～4時30分 ③午後5時30分～7時30分 (③は中学生以下の方は保護者等の送迎が必要) 水泳帽子着用
費用 小中学生100円、大人200円、幼児無料(付添いが必要) 3歳以下は入場できません。
休館日 毎週月曜日、毎月第3火曜日
問い合わせ B&G海洋センター ☎92-1291



八潮の地名 郷土の歴史 336

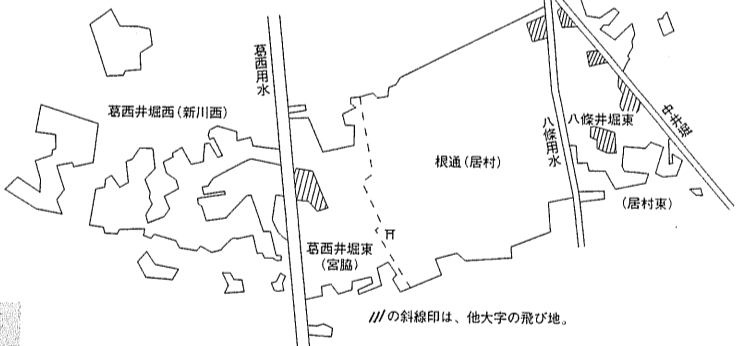
松之木の地名 その式

大字松之木 明治二十二年四月一日から現在に至る八潮市域の大字名。近世の松之木村が、明治二十二年の町村制の実施に伴い、南埼玉郡八潮市の大字となり、その後、昭和三十九年に八潮町、昭和四十七年に八潮市の大字となり、今日に至る。

居村、葛西井堀東が宮脇、葛西井堀西が新川西となっている。字地名の変更年、不詳である。松之木の字地域を地番にあてると、一番地から一七六番地が居村東、一七七番地から二六一番地が居村、二六二番地から三二二番地が宮脇、三二三番地から四〇四番地が新川西の範囲である。

開削され、村が二分された東側の耕地に因み、明治九年の『村誌』(以降同)には、「本村ノ東ノ方ニアリ、東西老町南北武町」と記される。大正期ごろから居村東と呼称される。

水の西側の耕地に因み、「本村ノ西葛西用水堀ノ西際ニアリ、東西武町南北武町」の範囲。大正期ごろから新川西の字名となる。なお新川は、葛西用水の別称である。上ヶ田高木 明治期から昭和四十年までの字地名。土を盛り上げた水田のゲタに因み、別称イグサコウチと呼ばれる。現在の新町付近にあった飛び地で、「本村ノ北ニアリ、東西武町南北武町の範囲であった。



文芸欄

呉美代選

皆さんの投稿をお待ちしています。市民の方ならどなたでも結構です。ぜひお寄せください。
【応募先】〒340-8588八潮市中央一丁目一八潮市役所広聴広報課広報係

詩

古木が蘇った 八條 杉村知香
出入りの植木屋さんが
添え木といつて植えた梅の古木に
てっせんの蔓がすがりついて
濃い紫と白い花を咲かせた
添え木になった傍らの梅の古木にも
青々と葉が繁りはじめた
やがて冬が来て、二月を迎えると
梅の古木は白い花をつけ
よい香りを放った
六月、梅の古木の葉陰には
小さな梅の実が成った
古木はみごとに蘇ったのだ
枯れ木同然だった古木を蘇らせたの
は、傍らに寄り添うてっせんだった
にちがいない
〈評〉てっせんは年老いた男性に寄り

短歌

添う女性のようですね。
南川崎 伊本則子
なんとなく晴るるけは雨の中
つばめの低く飛びかうを見ゆ
柳之宮 栗原幸子
ほつほつと葵の花の咲きはじめ
梅雨はまじかか曇りの空は
南後谷 杉村セツ
南天の花吹く風に誘われて
粉雪のごときらめいて散る
二丁目 田中 忠
梅雨晴れて水田の稲葉あざやかに
蛙なくこえ夏を告げたり
八潮八 浅田淑子
務め終えし盲導犬はさいはての
地にて静かに余生を送る
八潮五 西森八重子

俳句

空豆を茹でて茶飲みの友を招び
午後ひととき暫し寛ぐ
西袋 鈴木厚子
眠られずベランダに出で空見れば
雲の切れ間に星一つ見ゆ
古新田 横田八重
春すぎて初夏の香りの若緑
山の麓に咲きし紫陽花
八潮五 広瀬キク江
五月晴れ険しい岩をぬうごとく
遊覧船や堂ヶ島の旅
大曾根 宗像ゆき子
イタリアン料理食べつつ女五人
語らい楽しめく午後
二丁目 田中祐子
老いゆくも忘れてならぬ尊厳と
榮えとに満ちた姑の昔を
木曾根 高谷多門
それ以上まは言えず遠い日の
別れ去る背にリンゴの花追う
二丁目 田中元三
空豆を茹でて茶飲みの友を招び
午後ひととき暫し寛ぐ
二丁目 平井石龍
杭の蔭揺れて矢切りの水温む
赤信号日傘が守る乳母車
中央一 山角微陽
庚申の雑踏抜ける若葉風
手に受ける寺の井戸水風薫る
八潮六 藤崎政子
湯通して間引葉初夏の彩さやか
消しゴムで消せぬ過去あり桜桃忌
鶴ヶ曾根 平本愛子
洪滞につぼめ青田をかすめ飛ぶ
電柱につる草しかと巻きのぼる
八潮七 石井忠枝
閑取や雪駄ひびかせ夏の夕
小作田 藤波ふみ
茄子漬の目覚める色や朝の膳
坊 沼野あい
水におく影にも彩の花菖蒲
八潮五 林悦子
供え菓子忽ち湿る桜桃忌
柳之宮 加藤龍子
暮れ残る白紫陽花の花明り
鶴ヶ曾根 斉藤道子
病葉を掃く通学路静まりて
八潮七 小倉孝義
梅雨晴れの子らの歓喜や運動会
八潮七 鈴木義風
告知され時の記念日院に入り
中央三 宇津木勝子
さみだれや紫陽花映ゆる古き寺
大曾根 小倉義孝
梅雨晴れ間干ししふとんに陽の匂い
鶴ヶ曾根 斉藤初子
裏窓に葉づれの音や梅雨近し
雨上る足うづく夜の遠蛙
〈評〉鮮度のある発見的な作品をお持ち
しています。載らなかつた方は、
もう一度ご検討下さい。

吉川市

○朝顔市
日時 7月19日(日)、午前8時～正午
場所 いちよう通り(武蔵野線吉川駅北口下車、徒歩10分)
内容 入谷の朝顔市に出荷している大輪の朝顔や採りたての新鮮野菜、商工物産品の直売ほか、フリーマーケットも開催します。(小雨決行)
問い合わせ よしかわ観光協会(吉川市商工課内) ☎82-5111(9)251

越谷市

○水上フェスティバル
日時 8月1日(土)、午前10時～午後9時
場所 越谷市役所わき葛西用水(東武伊勢崎線越谷駅下車徒歩7分)
内容 水上フェスティバルは段ボール船競漕、カヌー体験など、花火大会は午後7時から
問い合わせ 越谷市商業観光課 ☎64-2111、越谷市観光協会 ☎66-6111

行ってみたいな となりまち



近隣4市1町のイベント情報をお届けします。ぜひ、お出かけください。

松伏町

○「平成の楽市楽座」出店者募集
法人、商店、友達同士、個人など町内外を問わず、どなたでも出店できます。
日時 7月26日(日)、午前9時～正午(雨天中止)
場所 リサイクルふれあい広場(松伏郵便局ならび)、毎月第4日曜日に開催しています。
費用 無料
問い合わせ 松伏町商工会 ☎92-1771

三郷市

○アルゼンチンタンゴ in JAPAN
日時 9月27日(日)、午後2時30分開演
場所 三郷市文化会館(武蔵野線三郷駅北口下車徒歩13分)
内容 エンリケ・クッティエニ楽団の演奏
入場料 S席3500円、A席3000円、前売り7月7日(火)、午前10時から窓口または電話予約
問い合わせ 三郷市文化会館 ☎58-9900

草加市

○第4回埼玉県東南部5市1町県展作品展・草加市県展秀作展合同展
日時 7月15日(水)～21日(火)、午前10時～午後7時(21日は正午まで)
場所 アコスホール(東武伊勢崎線草加駅東口アコス南館7階)、入場無料
内容 県展入選作品の展示
問い合わせ 草加市教育委員会生涯学習課 22-0151(9)6631